

中層木造オフィス「TDテラス宇都宮」の竣工について

東邦銀行（取締役頭取：佐藤 稔）、第一生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：稲垣 精二）、清水建設株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：井上 和幸）は、栃木県宇都宮市において開発を進めておりました中層木造オフィス「TDテラス宇都宮」（以下「本物件」）が竣工したことをお知らせします。

本物件は当行旧宇都宮支店跡地と第一生命旧栃木支社跡地に4階建の建物を建設し、1階を当行宇都宮支店（11月21日に移転予定）、2階から4階を第一生命事務所として利用いたします。

本物件は、栃木県産材や福島県産材を使用したオフィスで、地域活性化に貢献するとともに環境に配慮した温かみのある店舗としております。

当行は、今後もお客さまならびに地域の発展に貢献してまいりますので、引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 本物件の特徴

- (1) 当行および第一生命において初となる中層木造オフィス
- (2) 地産木材活用による地産地消型サプライチェーンの実現
- (3) 木の特性を活かした施設利用者のウェルビーイングを促進する新しいかたちのオフィス
- (4) 事業関係者及び建物特性を活かしたカーボンニュートラル・RE100(※1)の推進(木材活用による炭素固定化、国内初となる新築時よりオフサイトコーポレートPPAサービスによる電力調達等)

(※1)企業が事業の使用電力を100%再生可能エネルギーで賄う取組みのこと。環境省が推進。

(1) 当行および第一生命において初となる中層木造オフィス

A. 本物件では、清水建設が開発した木質ハイブリッド技術を活用し、構造体や内外装の仕上材として木材を採用しています。金融機関における中層木造オフィス開発は珍しく、当行および第一生命においては初の取組みです。

B. なお、今後木質化が期待される都市型オフィス・商業施設に普及可能な計画として、林野庁補助事業「CLT活用建築物等実証事業」の採択を受けており、建築業界の技術革新及び木材産業の活性化にも寄与する取組みとなっております。



(2) 地産木材活用による地産地消型サプライチェーンの実現

A. 本物件では、内外装の仕上材及び型枠兼天井には「栃木県八溝山系のスギ」を、構造部材である柱・梁には「福島県南会津のカラマツ」を採用しております。また、加工工程の大半を福島県内で製材・加工を行い、その一部を東日本大震災復興に向けた「福島イノベーション・コースト構想」(※2)により整備された浪江町の福島高度集成材製造センターが担いました。

(※2) 東日本大震災及び原子力災害によって失われた福島県沿岸地域等の産業復興を目的とし、新たな産業基盤構築を目指す国家プロジェクト。

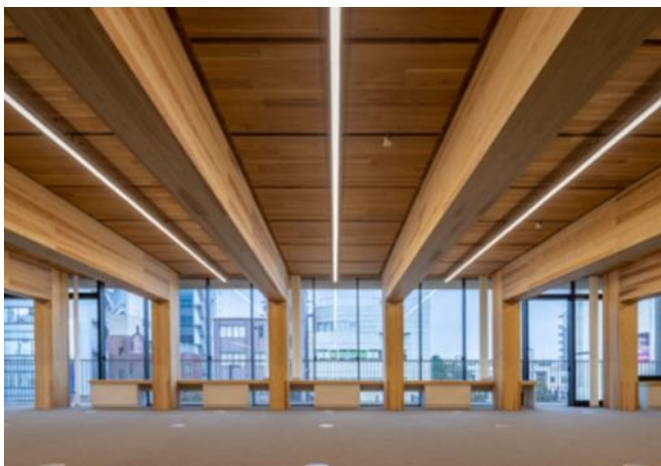
B. 地域資源を活用し竣工した本物件は、当行・第一生命が地域拠点として今後も継続して地域経済に貢献する地産地消型サプライチェーンを体現しております。

(3) 木の特性を活かした施設利用者のウェルビーイングを促進する新しいかたちのオフィス

A. 本物件の室内は、木そのものに包まれた空間となっており、施設利用者に対して、リラックス効果や生産性向上効果のある快適な空間を提供します。

B. また、新型コロナウイルス等の感染症対策として四面開口の自然換気窓、エレベータの非接触機能、抗菌・抗ウイルス機能を有した建具のハンドルなどを採用することで、施設利用者のQOL(※3)向上や健康増進を図りつつ、多様化するワークスタイルの適応やコミュニケーションの活性化を促進するようなポストコロナ時代の新しいオフィスをかたちづくりしました。

(※3) “Quality Of Life” の略。物理的な豊かさだけでなく、精神面を含めた豊かさを意味します。



(4) 事業関係者及び建物特性を活かしたカーボンニュートラル・RE100の推進(木材活用による炭素固定化、国内初となる新築時よりオフサイトコーポレートPPAサービスによる電力調達等)

A. 木材は、森林が吸収した炭素を貯蔵する機能を有しており、「都市等における第2の森林づくり」として、カーボンニュートラルの実現など、地球温暖化防止への貢献が期待されています。本物件では、構造体に306立方メートルの木材を利用し、約206トンの二酸化炭素固定効果を得ております。合わせて、木造化による建物の軽量化を図ったことで、第一生命旧栃木支社ビルの地下躯体・杭を再活用することができ、施工時の二酸化炭素排出抑制および産業廃棄物の削減にも寄与しました。

B. また、運用時の電力としては、屋上に設置した太陽光発電設備、オフサイトコーポレートPPAサービス(※4)及びFIT非化石証書(※5)等を活用し、運用時の電力全てを再生可能エネルギーで賄っております。

(※4) 電力需要施設と離れた土地に太陽光発電設備を設置し、発電した電気を環境価値と共に電力需要施設に送るというスキームを活用した電力調達の方法(本件スキームについては詳細次ページを参照願います)。

(※5) FIT制度を通じて買い取られた電気の非化石価値を証書にしたもの。当該証書は電力会社間で売買可能で、証書を所有する電力会社が供給する電気は再生可能エネルギーによる電気とみなせます。

2. 関連するSDGs



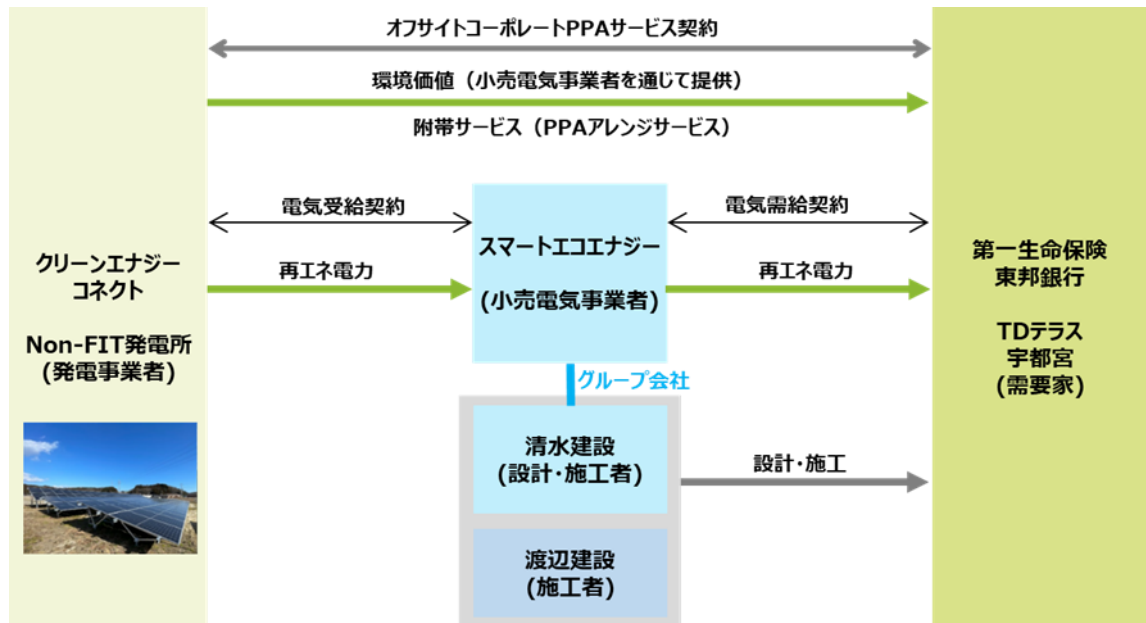
東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。

【参考：本物件概要】

所在地	栃木県宇都宮市泉町1番29号
主要用途	1階：当行宇都宮支店、2～4階：第一生命栃木支社事務所
規模	階数：地上4階建、延べ床面積：2,447㎡
構造	ハイブリッド木造（木造+鉄筋コンクリート造）
竣工	2022年9月
建築主	株式会社東邦銀行・第一生命保険株式会社
設計・施工	設計：清水建設株式会社一級建築士事務所 施工：清水建設・渡辺建設共同企業体

【参考：オフサイトコーポレートPPAスキームについて】

1. 建物新築時からのオフサイトコーポレートPPAサービスを通じた再生可能エネルギー調達是国内初の取組みとなります。
2. 株式会社クリーンエナジーコネクが本物件専用の太陽光発電所（埼玉県1カ所、0.1MW相当）を設置し、小売電気事業者（スマートエコエナジー株式会社：清水建設の100%子会社）を介して、再生可能エネルギーを供給する仕組みとなっております。



以上